

シリーズ記念碑探訪 23

大野台の未来を拓く

阿仁川筋県営農免農道整備事業

合川町 森吉町

由 来

本事業は、合川町木戸石高長橋を起点とし森吉町鶴田までの、大野台西部の畑地帯を縦貫する農道整備事業である。

当地域は、合川町その他近隣町村を含めて、首都圏への野菜の出荷基地となっているが、ほ場への出入りは幅員が狭く、屈曲の多い数路線の農道しかなく、大型機械の導入による耕作や生産資材の搬入並びに、農産物の適期出荷の大きな障害となっている。

このため、本事業により地域内に基幹農道を新設し、大型機械の導入と生産資材、農産物の搬入出を円滑にすると共に荷痛み防止と適期出荷により、農業経営の安定化を図ることを目的としている。

また、町の総合的な環境作りのための基幹道路としての役割も大きく、農業施設の整備と若者が定着し得る就労の場を確保しつつ、農工一体の均衡のとれた町作りを目指して実施したものである。

平成2年10月19日

合川町長

畠山 義 郎

森吉町長

高田 要 蔵



▲竣工記念碑「大野台の未来を拓く」

(事業概要)

事業名	農免農道整備事業
地区名	阿仁川筋地区
事業量	8,791メートル
事業費	1,071,000千円
工期	昭和61年度～平成2年度
受益面積	1,058ヘクタール
所在地	合川町 森吉町

— 参考文献 —

・農のいしぶみ



▲農免農道周辺の農地